

ご意見は次のeメールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp

phone：072-878-3205

http://nagahata.jp

fax：072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

最初に、前号の裏面タイトル中「市政報告会」は「議会報告会」の誤りでした。訂正しお詫び申し上げます。

さて、今号も多岐にわたっての内容となっています。

「古代馬 骨から復元」について

タイトルは9月22日読売新聞朝刊よりです。内容も少し手を加えながら一部引用させていただきます。

近つ飛鳥博物館（大阪府河南町）は、平成14年に四條畷市の葎屋（シミヤ）北遺跡で見つかった古墳時代（5世紀後半）の馬の全身骨格から、当時の馬を模型で復元した。

模型は体高1.3m、体長2mで、現代の馬と比べて頭は一回り大きく、脚は短い。

同遺跡は日本書紀にある飼育場「河内馬飼（ウマカイ）」に関連するとみられ、2003年に馬1頭分の骨が完全な形で見つかった。07年に同博物館が合成樹脂で骨格を再現。今年6月から粘土で肉付けし、アクリル絵の具で彩色した。

日本列島に馬が来たのは、副葬品として朝鮮系の馬具が見られるようになった4世紀末頃とみられる。



復元された馬の模型

この馬の元となった全身骨格は、近つ飛鳥博物館において常設展示されています。また、その実物大レプリカは、発掘場所である本市砂地区の“なわて水みらいセンター”屋外施設に展示されており

(vol.047 参照)、業務時間内であれば自由に見学ができます。

「総務大臣への要望」について

大阪12区（四條畷市・大東市・寝屋川市）選出の国会議員である樽床衆議院議員が、10月1日付けで第16代総務大臣に就任されました。この地区にとって初の大臣であり、特に総務大臣は地方自治体にとって重要なポストです。

Wikipedia より一部抜粋しますと、国家行政組織法において総務省は各省の筆頭であり、閣僚名簿においても副総理を除けば内閣総理大臣の次に列せられるのが総務大臣で、建制順では国務大臣の筆頭となります。

しかし、それ以上に重要なのが、総務省の担う仕事です。2001年1月6日に総務省が設置された時に、郵政大臣、自治大臣、総務庁長官が廃止され、総務大臣が設置されました。そのことにより、総務庁が所管していた行政制度に関する業務、郵政省が所管していた情報通信行政、自治省が所管していた地方自治制度に関する業務を総務省が担っています。

このことは、本市にとって願ってもないチャンスに違いありません。過去、本市から国へ多くの要望をしてきましたが、日本全国で約1800（平成の大合併前はこの2倍）ある市町村の要望が大臣の目にとまるのはまれであり、まして、要望を叶えて頂けるのは皆無に等しい状況でした。

以上のことを踏まえ、四條畷市議会において、樽床総務大臣と密接に関係があるのは畷市民クラブであり、その会派の幹事長である私を筆頭に10月1日総務省へ行き、直接本市の要望を樽床総務大臣を通じ担当課へ説明をしてきました。

当日の主な要望の内容は以下の2点です。他にも国道163号第2トンネル整備に際しての下水道管理設やJR忍ヶ丘駅における区間快速の増便等、多項目に渡って事前に要望しています。

1. 地域手当の見直し
2. 平成24年度 特別交付税の要望

総務大臣室内 → 大久保利通の書の前で

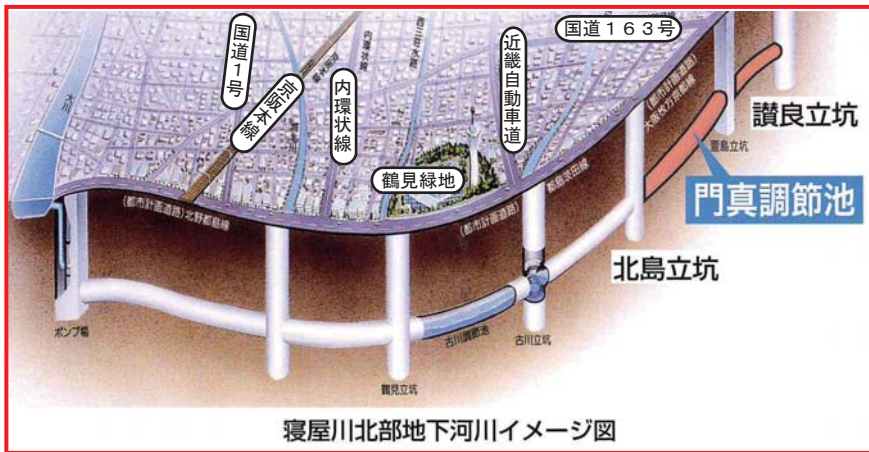


「浸水対策事業」について

10月5日、四條畷市議会で寝屋川北部地下河川現地視察へ行きました。行った先は第二京阪道路沿いにある大平立坑、北島立坑、萱島立坑の3ヶ所です。

大阪の地盤を中央環状線に沿って南北に切ったものが下の地盤高断面図です。これを見ればわかるように、寝屋川流域は、山沿い以外は河川の水位が街より高く、大雨が降ればポンプによる強制排水が必要な内水域と呼ばれる場所です。

今までの対策として、下水管の整備をほぼ完了し浸水被害は大幅に減少しました。しかし、近年の田畑の減少により、降った雨が地面へ浸透するより下水管へ流入し浸水被害が起こりやすくなっています。また、局地的な集中豪雨が発生しやすくなっています。本市の市街地が8月14日のゲリラ豪雨で被害を受けたのも以上の理由です (vol.60 参照)。



寝屋川北部地下河川イメージ図

そこで、既存の下水管の能力不足を補う第2の下水管として、つまり、雨水を放流する目的で地下河川を人工的に作っています。それが、今回視察した場所です。

この地下河川は、寝屋川市大平を起点に大阪市都島区で大川に抽水する延長約11km、深さ30~50m、内空断面φ5.4m~10.2mの地下トンネルです。

これは大阪府の事業で、全て完成するには、まだ30年かかるとのことですが、鶴見緑地周辺においては一部供用開始されている箇所もあります。一部供用開始も含め、少しでも早く工事を完成することを本市としては府に要望し、本市の浸水対策を万全のものにしていかなければなりません。

「9月議会一般質問」について

9月に行われました平成24年第3回定例会の一般質問におきまして、私は次の3点を質問しました。

「介護報酬に係る地域区分の見直し」について

「ご当地ナンバープレート」について

「一般廃棄物の所有権」について

紙面の都合上、今号ではナンバープレートの件について当日の質問内容を要約加筆し報告させていただきます。

ご当地ナンバープレートについては、私も過去に議会で質問&要望をさせて頂きましたし、私の市政報告において市民の皆さんにも周知をはかってきました (vol.37,48 参照)。

そして、現在、ご当地ナンバープレートを作ることになり、市役所内で検討委員会を立ち上げデザインについては最終案も出ています。しかし、その経過について市民も議会も何ら

知らせておりませんし、その最終案を見ますと、新たなキャラクターが採用されています。そのキャラについても、ご当地ナンバープレートのためのデザインだそうです。本市のキャラを、これ以上増やす必要があるのでしょうか。今も市内には多くのキャラ存在しています。本市のゆるキャラとして既に定着している四條畷市商工会のくっすん、(社)四條畷青年会議所のまさつらくん、市政施行40周年記念ロゴマークの馬、本市観光大使で絵本作家である谷口智則さんの忍ヶ丘駅前モニュメント、第2京阪道路にある本市を示す標識、そこにナンバープレートのまさつらが加わるのです。

私は、市の観光行政を推し進めるためにも、統一したデザインのものを持つべきで、観光戦略の基本だと訴えました。そう考えますと、市民に周知されている商工会の“くっすん”を採用するのも良いでしょうし、本市の観光大使である絵本作家にご当地ナンバープレートを含め観光にかかわる全てのデザインをお願いするのも一考ではないでしょうか。彼は、フランスでも絵本が出版され、ネットを通じてニュースや情報を海外に発信するNHK WORLDにおいても日本語の挿絵を描かれていたり、今、一番元気なデザイナーです。

地盤高断面図

寝屋川流域において総合的な治水対策を進めます。

(大阪中央環状線沿縦断面図)

